

(別添)

上尾中央総合病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 2月 策定

【上尾中央総合病院の基本情報】

医療機関名：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

開設主体：医療法人

所在地：埼玉県上尾市柏座1-10-10

許可病床数：733床

（病床の種類別）一般病床、感染症病床

（病床機能別）高度急性期機能、急性期機能、回復期機能

稼働病床数：731床

（病床の種類別）一般病床、感染症病床

（病床機能別）高度急性期機能、急性期機能、回復期機能

診療科目：43科

内科、糖尿病内科、感染症内科、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、循環器内科、腫瘍内科、神経内科、消化器内科、緩和ケア内科、心療内科、アレルギー疾患内科、膠原病内科、皮膚科、放射線治療科、小児科、産婦人科、眼科、麻酔科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、リハビリテーション科、外科、消化器外科、脳神経外科、内視鏡外科、頭頸部外科、呼吸器外科、気管食道外科、整形外科、乳腺外科、肛門外科、心臓血管外科、小児外科、美容外科、歯科口腔外科、形成外科、肝臓外科、泌尿器科、救急科、臨床検査科、病理診断科

職員数：1,629人（H30年1月）

- ・ 医師 常勤：215人
- ・ 看護職員 常勤：750人
- ・ 専門職 常勤：424人
- ・ 事務職員 常勤：240人

関連施設

上尾中央第二病院

エイトナインクリニック（透析）

上尾中央看護専門学校

上尾中央医療専門学校

上尾中央訪問看護ステーション

訪問看護ステーションゆーらっぷ

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

埼玉県 県央医療圏(上尾市・鴻巣市・桶川市・北本市・伊奈町)

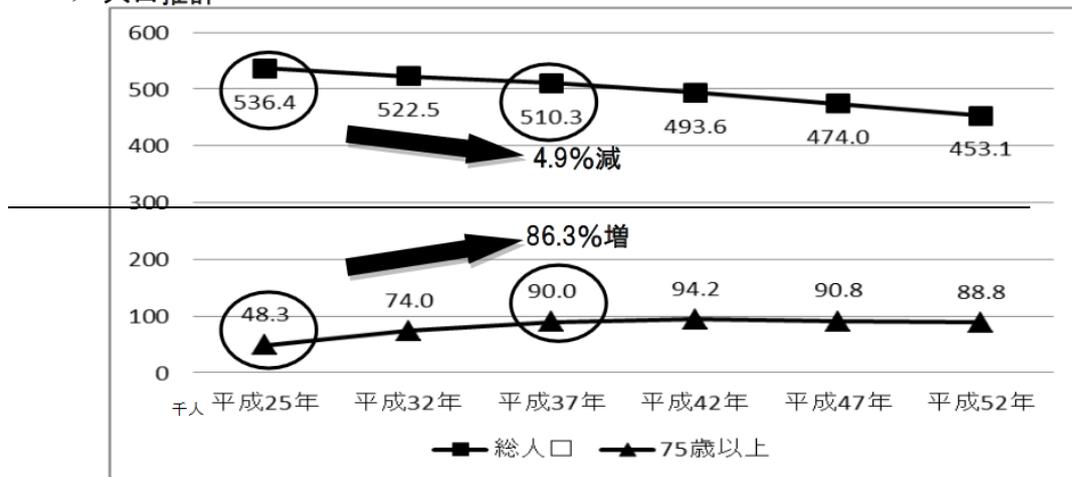
面積	172.91k m ²
国勢調査 (2010年)	529,658人
人口 (2015年)	529,055人
人口増減率	-0.11%
(2010~2015年)	(※) -0.75%
高齢化率	25.90%
(65歳以上・2015年)	(※) 26.30%
人口密度	3,059.70人/k m ²
(2015年)	(※) 340.80人/k m ²



1区域の概要

区域内市町村 : 上尾市・鴻巣市・桶川市・北本市・伊奈町

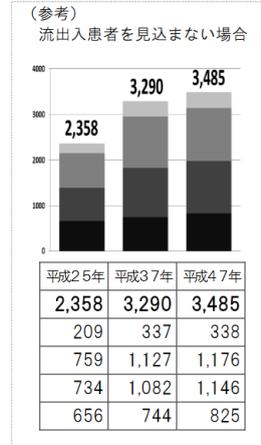
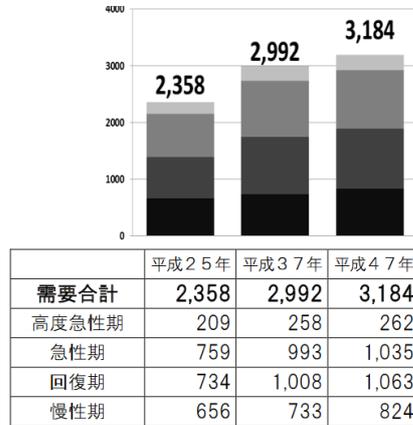
▶ 人口推計



※平成25年：町(丁)字別人口(平成25年1月1日現在)
平成32年～：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

埼玉県地域医療構想抜粋

2入院患者の医療需要



埼玉県地域医療構想抜粋。

3入院患者の医療需要を基に、機能区別に医療法施行規則で定める病床稼働率等により平成37年（2025年）における病床の必要量を算出

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	無回答
平成37年 必要病床数推計 (a)	344	1,273	1,120	797	3,534	
平成27年度 病床機能報告 (b)	391	1,721	232	877	3,221	304
差引 (b-a)	47	448	▲888	80	▲313	
(参考)流出入を見込まない 場合の必要病床数	450	1,445	1,203	809	3,907	

埼玉県地域医療構想抜粋。

4医療機能毎の受領動向

機能別完結率及び流出率

高度急性期	57.6%が完結	42.4%が流出
急性期	69.1%が完結	30.9%が流出
回復期	70.4%が完結	29.6%が流出
慢性期	64.5%が完結	35.5%が流出

	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	東京
高度急性期	0	0	0	23.6	57.6	12	0	6.8	0	0	0
急性期	0	0	0	13.1	69.1	5.7	0	7.6	2.5	0	2
回復期	0	0	0	11.5	70.4	6.9	0	7.4	2.2	0	1.5
慢性期	0	0	0	12.4	64.5	11.7	0	8.7	2.7	0	0
全体	0	0	0	13.5	67.1	8.3	0	7.7	2.2	0	1.1

② 構想区域の課題

県央区域は高齢者の増加などを背景として、平成37年（2025年）以降も医療需要が増加すると見込まれている。

さいたま、川越比企など近隣の区域に多くの入院患者が流出している中で、一般病床の利用率は、全国平均、県平均を下回っている状況にある。

また、将来必要となる機能別の病床の必要量と現時点での病床機能報告との比較では、地域包括ケア病棟など回復期機能の不足が見込まれる。

□入院基本料等からみた区域内の病床の現状

（平成27年1月1日現在）

		病床数		
		実数	人口10万人あたり	
			区域内	県全体
一般病棟入院基本料	特定機能病院	0	0.0	16.1
	7対1	1,142	213.4	228.1
	10対1	150	28.0	76.1
	13対1	0	0.0	14.0
	15対1	97	18.1	31.6
回復期リハビリテーション病棟入院料		185	34.6	40.8
地域包括ケア病棟入院料・管理料		0	0.0	5.4
緩和ケア病棟入院料		72	13.5	4.0
特殊疾患入院料・管理料		0	0.0	7.8
療養病棟入院基本料		737	137.7	112.9
障害者施設等入院基本料		82	15.3	26.5

埼玉県地域医療構想抜粋。

③ 自施設の現状

理念・基本方針

理念

高度な医療で愛し愛される病院

基本方針

～改革～ 質的水準の向上と改革活動を継続できる基盤づくり

【地域貢献】

- * 地域医療支援病院として地域医療連携の推進、病病・病診連携の強化
- * 救急の受入れ体制の強化
救命救急センター指定と外傷センターの設置
- * 災害拠点病院指定取得
- * 治験、臨床研究、臨床試験の推進

【医療の質の向上・患者サービス】

- * 先進医療への取り組み-
- * 組織的な医療安全対策、感染対策の強化
- * 患者満足度向上のための改善活動
- * ISO9001 更新受審

【人材育成、教育・研修】

- ※新専門医制度における体制の整備
- * 特定行為に関わる看護師の研修制度の推進
- * 次世代リーダーの育成
- * 専門資格取得の推奨
- * 学会発表、学術論文の推進
- * 地域医療関係者を対象とした教育・研修活動の実施
- * 地域住民に向けた情報発信

職員数：1,629人（H30年1月）

- ・ 医師 常勤：215人
- ・ 看護職員 常勤：750人
- ・ 専門職 常勤：424人
- ・ 事務職員 常勤：240人

入院基本料等

- ・ 一般病棟 7対1入院基本料
- ・ 特定集中治療室管理料 4
- ・ ハイケアユニット入院医療管理料 1
- ・ ハイケアユニット入院医療管理料2
- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料
- ・ 緩和ケア病棟入院基本料
- ・ 小児入院医療管理料3

平均在院日数（平成29年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
平均在院日数	14.5	14.4	14.6	14.6	14.5	14.3	14.1	13.9	13.8	13.6	14.0	14.0		14.2

病床稼働率（平成29年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
病院稼働率	95.5%	97.1%	92.1%	91.8%	90.6%	91.6%	90.9%	94.7%	95.7%	91.1%	94.9%	96.3%		93.5%

入院延患者数（平成29年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
入院延患者数	18,282	18,745	18,273	18,875	19,568	19,209	18,849	19,092	19,904	19,123	17,731	18,976	226,627	18,885.6

外来数（平成29年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
診療日数	23	23	26	24	24	26	25	26	24	25	24	25	295	24.6
初診患者数	3,236	2,835	3,047	2,763	3,131	3,031	3,307	3,468	2,992	3,067	2,946	3,225	37,048	3,087.3
再診患者数	29,371	29,024	32,903	30,106	30,642	33,146	32,106	33,488	32,215	32,766	32,276	34,320	382,363	31,863.6
延べ患者数	32,607	31,859	35,950	32,869	33,773	36,177	35,413	36,956	35,207	35,833	35,222	37,545	419,411	34,950.9

特徴

地域の基幹病院として救急医療、がん治療、先進医療を中心に医療を提供している。救急医療では24時間365日診療体制をとっており、断らない医療を実践。県央地域の中核病院に位置づけられ病院独自で循環器疾患の24時間救急受け入れの整備や、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークにも参加している。また、県央地域では当院を含め3つの医療機関が特定集中治療室管理料の基準をもち当院も区内の高度急性期医療に尽力している。手術支援ロボットの導入など、先進医療も積極的に導入している。

また、上尾中央総合病院は区内の南端に位置しており疾患によってはカバーする範囲に偏り

がある。

人間ドック・健診部門が併設されており、長期間にわたり地域住民の健康増進に当たっている。

他医療機関との連携

平成 27 年 11 月より地域医療支援病院の運用を開始し、登録紹介医との緊密な連携を構築している。外来患者の紹介・逆紹介に対する「かかりつけ医制度」を推進しています。FAX 検査予約等による検査機器の共同利用による医療機関の機能分化の強化と連携の推進に努めている。

④ 自施設の課題

毎月 1700 件以上の逆紹介をしているが、病床稼働は高稼働を推移している。紹介患者を受け入れて行くために、病床回転率を上げ効率的に病床運営を行うことが課題の一つとなっている。増加が見込まれる在宅医療等の需要に対応するため、医療・介護を横断的に支援する機能を強化し、在宅医療等に関わる多職種による連携体制の構築を行う。地域における高齢化の進展等に伴う医療需要の変化に的確に対応していくために、地域医療構想調整会議における検討状況も踏まえて、今後の対応について、検討していく必要がある。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

地域の中核病院として救急医療に力を入れ急性期医療を中心とする医療ニーズに対応し、質の高い安全で安心で高度な医療の提供を行っていく。

地域支援病院である上尾中央総合病院は 診療所等では提供が困難な高度治療や検査、手術などを必要なときに迅速かつ効果的に提供するため医療機関の機能分化の強化と連携の推進に努めている。

地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、必要な人員の確保・育成に取り組んでいく。

② 今後持つべき病床機能

上尾中央総合病院は、地域の中核病院として、循環器疾患や脳外科疾患をはじめ急性期医療を更に推し進め、救急救命センターや災害拠点病院の指定を受けるために整備を行っていく。また、地域医療構想調整会議での協議等を踏まえながら、地域に不足する機能に対する対応についても検討していく。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	116	→	116
急性期	564		564
回復期	53		53
慢性期	0		0
(合計)	733		733

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	□地域医療構想調整会議での協議等を踏まえながら、担うべき医療機能の検討		
2018年度	□地域医療構想調整会議での協議等を踏まえながら、担うべき医療機能の検討		
2019～2020年度			
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	—	→	—
新設		→	—
廃止	—	→	
変更・統合	—	→	—

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率： 94.2%以上
- ・ 紹介率： 70.0%以上
- ・ 逆紹介率 60.0%以上

経営に関する項目*

- ・ 給与費対医業収益比率： - %
- ・ 委託費対医業収益比率： - %

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)